



# ラピュタ通信

【発行】  
特定非営利活動法人  
ラピュタ創造研究所  
〒915-0074 福井県  
越前市蓬萊町 5-1  
TEL 0778-21-3190

## 2009年 新年明けましておめでとうございます



皆さま、すがすがしい新年をお迎えるのとおもいます。昨年中は、ラピュタの活動にご参加・ご支援いただきまして、たいへんありがとうございました。

お陰さまで 2008 年は、6回目を向かえ「otonaの文化祭」や15回続いている「きもの de 来武」などに加え、長年あたためてきた企画「武生デジタルアーカイブ」にも挑戦することができました。

蔵の辻界隈では、土といのちの会主催の市場「おそんじやパサージュ」や壺の市実行委員会による「アロマ&オープンカフェ「壺の市」や「骨董市」などのイベントが、継続的に行われています。その他にも、いろいろな団体によるさまざまな企画が、織りなすように行われています。そこにある主張や目指す形はまちまちですが、その多様性こそが、武生の暮らしや文化に幅と深みと持続性をもたらすのだと心強く感じています。

ラピュタ発足から10年を迎える2009年。ラピュタは、今後も時代の流れと変化を捉え、地方都市「武生」のあり方を研究し、ラピュタのコンセプトである「持続可能なまちづくり」「武生の暮らし方」の実現にむけた活動をしていこうと、スタッフ一同、心を新たにしています。

本年も、ラピュタの活動にご支援・ご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年元旦  
ラピュタスタッフ一同

### 2008年ラピュタ 10大ニュース

- ① 「otonaの文化祭」6周年達成!武生の暮らし方を発信!
- ② 「武生デジタルアーカイブ」プロジェクト開始  
仁愛短期大学藤原研究室と共同実施
- ③ 武生古写真会「思ひ出巡り」 プチ回想法をかねて、聞き取り調査。世代を超えた交流が実現!
- ④ 「シタールの夕べ」金剛院さんと共同企画 異国の音色に詩の朗読・プチヨガ・ライブ・イベントがコラボ
- ⑤ 「きもの de 来武」15回 武生きもの生活徐々に伝播!?
- ⑥ 新企画「歌声喫茶」毎月第1日曜日に開催(3月~11月)
- ⑦ 石見銀山・松江視察 あゝ「中村ブレイス」の社長にじっくりとお話を聞く機会を得られて感激! 励ましを受ける
- ⑧ 壺の市に連続出店参加「もってけ市」好評
- ⑨ ラピュタ「食」開発部の「雑こクッキー」大好評!
- ⑩ 丹南夢レディオ発行の「丹南文化編集室」にコラム連載

### 武生デジタルアーカイブ事業

これまでラピュタでは、逍遥園裏の下張りなど武生の貴重な歴史資料のデジタルアーカイブ化を進めてきました。そして、08年度は武生の古写真のデジタルアーカイブ化を開始しました。

この取り組みについては、仁愛短期大学 藤原研究室の学生さんとコラボレーションし、写真のデータ取り込み作業や、後述する回覧会などが行われました。

色々な方からご提供いただいたアルバムや古絵葉書などをスキャンした結果、本年度にアーカイブした写真の総数は約 1000 枚となりました。内容は、古い町屋の風景、寺社・学校・公共建築物、日野川にかかる橋、村国山のお花見風景、豪雪に埋もれた町、開催当初の菊人形会場、祭風景など多岐に渡っています。



7月20日には蔵の辻にて、学生さんと協力して、武生古写真上映会「思ひ出巡り」を行いました。蔵の壁面に張ったスクリーンに映し出される懐かしい風景に、たくさんの方が思い出を語っておられました。

また、その一部は「otonaの文化祭」期間中に『武生今昔物語』として、同じ位置から撮影した現在の風景写真とあわせて比較展示を行いました。こちらもおたくさんの方がご来場いただき、笑顔で

昔話を語られるなど、感心の高さを感じました。

今回、デジタルアーカイブ化した写真は学生さんの手によって、ラピュタの Web サイトに公開されています。残る写真についても09年度に公開するよう準備していますので、楽しみにお待ちください。

また、会員の皆様がお持ちの古写真の提供もお待ちしていますので、是非ともご協力ください。



鐘灯籠に町用水と松並木 凜とした美しさ



今の公会堂との違い、分かりますか?



蔵の壁に上映「思ひ出巡り」の様子



映画館「武生劇場」の黄金時代

### 「otonaの文化祭」なんと6周年を迎えてた!

2003年の秋、ラピュタの提唱する持続可能なライフスタイルの「カ・タ・チ」を実現させるべく始まった「otonaの文化祭」。今年で6年目を迎え、すっかり武生の秋の風物詩(?)となりました。

「oto文」は単なるイベントの連続ではなく、それぞれの企画がやがて「暮らしの一部」になるといいなあ〜という想いを込めて、2005年には「武生の暮らし方」をサブタイトルに追加。チラシも「衣・食・住」のロゴをメインに、より身近な題材をラピュタ流に掘り下げた企画が多くなってきました。

チラシをもとに振り返って見ると、面白い発見も数多く…

- \*2003年(第1回目)・・・「懐かし・癒し・楽し」をテーマに、展示&ライブなどバランスのいい内容。きものde来武、始まる。
- \*2004年(第2回目)・・・よくばって、企画多すぎ。35も。会場も周辺各地に拡大。やりすぎて、終了後スタッフ、大疲れ。
- \*2005年(第3回目)・・・前年の反省から、数でなく中身で勝負に変更。テーマを「衣・食・住」中心に絞る。ただし、「蔵の辻ウエディング」がメイン企画になり、結構大わらわの年に。
- \*2006年(第4回目)・・・前年の疲れから、他人の人生の節目にかかわっている場合ではないと、より「衣・食・住」に密着した企画に。「無理しない程度に頑張ろう!」のスタイル、この頃から始まる。
- \*2007年(第5回目)・・・この年始まった蔵の辻「春の市」とコラボがあったり、丹南FMから「お・と・なのRadio」も放送したりと、他とのつながりが見えてきた、そんな年。
- \*2008年(第6回目)・・・今年のキーワード「アーカイブ」から「今と昔」を意識した企画多し。6年目にして、ようやくスタッフも「楽しむ」余裕が。。。??



毎年、試行錯誤&紆余曲折をしているようでいて、案外「筋」はしっかり通っているような気がします。

でも、今回この記事を書くにあたり、ひとつ。スタッフ全員が、「今年でoto文、5回目やったがなあ〜♪」「・・・ん??」

指を折って数えると、6、6周年??? いつの間にか?

おう~~~~~いつ!ちゃんと振りかえつとかなあ~~~~!!

記録(アーカイブ)はととても大切だということを、身を持って感じたわけでした。(´\_`);

### otonaの文化祭 2008 総集編! (10/1~13)

#### 10/3(金) おむすびころりん演奏会

本日3日(金)は、府中町屋倶楽部で「おむすびころりん演奏会」が行われました。地元の「お米・天然塩・梅干し」を使ったおむすびと、フルートの演奏のコラボという、最初はいったいどんな企画?と思われる会でしたが、いやはや参加してみてその「つながり=結び」に、びっくり!



まずは、最初にフルートの演奏にしばしうっとり。。。演奏は河原さん。(このときは素敵なブルーのドレスで。)

その後、「塩にぎり」を味わって、ひとしきり。ぴかぴかと美しいおむすびは、上坂さんという「日野自然学校」のメンバーの方が作って下さいました。次は、あの「森のイスキア」で有名な佐藤初女さん直伝の「おむすびの握り方」を。ラップを使って、ひし形にご飯を置き、その真ん中に梅干しをおいて、ふんわりと握る。そうすると、ご飯粒がほどよくくっついた、あんばいのいいおむすびが完成! 実は、防災士の資格もをお持ちの西野さん。万が一のとき、さとおむすびがつくれることも大事、

今年の「oto文」、ブログから抜粋して、みなさまにご報告します!

<http://laputa21.exblog.jp/>

となかなか奥の深いコメントもはさみつつ。。。へえ。今回のおむすび体験には、玄米と酵素玄米の二種類を用意して下さって、その特徴などについても、経験談などを交えて、楽しくトークして下さいました。そして、おなかもいっぱいになったころ、再びフルートの演奏。(このときは、なーんと赤いもんべ?姿にっ!)

昔なつかしい童謡などは、河原さんお手製の歌詞カードを手に、「歌声喫茶ならぬ、歌声おむすび?」。河原さんもトークが絶妙で、リクエストにもさっと答えつつ、何曲も演奏して下さいました。

しっとりとした秋の夜長に、おなかもこころも満たされる、とてもあたたかい会となりました。素敵な企画をしてくれた、西野さん、河原さん、上坂さん、どうもありがとうございました〜♪



しみじみと味わい深いおむすびとお漬物

#### 10/4(土) きものde来武「なよ竹の」

今回でなんと15回目の「きも来」。「なよ竹の」をお題に、「旧料亭春駒」で、しっとりとお・と・なな秋の夜を過ごしました。きもの達人トークは「明かり庵」庵主毛利きよみさん。毎日を着物で過ごし、「粋きもの・和雑貨明かり庵」では、素敵な和モード・ライフを提案していらっしゃいます。そんな毛利さんから、着物との出会い、着物の素晴らしさなど、熱い想いをたっぷり聞くことができました。



ラピュタで「きも来」を始めた2003年には、街中にこんな着物の店ができるなんて、夢にも思っていませんでした。これもうれしい変化の一つだなあ、と改めて感じました。ライブは「人形と語り座」の竹人形芝居です。9年ぶりの復活というこ

とで、団員の方も気合たっぷり。前日からの仕込み。春駒さんの庭を借景に舞台設定を行い、トークは2階で、お芝居は1階という、「回廊式」のプログラムになりました。

芝居は謡曲「はながたみ」を題材に、悲しい恋の物語。手作りの竹人形が巧みに操られ、その細かな感情表現に観客は釘付け!息を凝らして、食い入るように見入っていました。

トークもライブも内容濃く、とても面白かったと、常連さんからも満足度の高い感想をいただきました。節目の15回無事終了。次回もご期待ください!



息を呑む迫真の演技に吸い込まれました

#### 10/12(日)・13(祝・月) 昔のきもの展「あでやかなりし時」

12日(日)、13日(祝・月)の2日間、ラピュタ蔵にて、「昔のきもの展-あでやかなりし時-」を開催しました。1階は、昭和初期の婚礼衣装を中心に展示。正面は打掛。左横は丸帯。その横は青地大振袖。黒地大振袖は当時の婚礼衣装。70年前の証拠写真に、「へえ〜」。2階は、普段着を中心に展示。時代が変わっても、着続けられる着物って、すごい!

そして、今回一番の「おーど」さん!明治時代(たぶん)の打掛。じみー~~~~いですが、たぶん婚礼衣装、だと思えます。いろいろ調べてみたのですが、織の打掛って普通にあったものなのか、わからなかったため、今後も要調査です。(※「オールドさん」の写真はブログで!!)

こうしてきものとしてかたちが残っているだけでも、すんばらし〜!と、あらためて大切にしてきた人たちの思いと、それを作り出した職人さんの技に、感謝&感激しました。(´人`)

両日ともお天気に恵まれ、きもの姿の団体さまも来られたりと、とても楽しいひとときを過ごすことができました。ちなみに団体さんは、きも来でゲスト出演された「明かり庵」さんのお客さまたち。13日(祝・月)にアンティーク食器を使ったお茶会を企画され、そのあとにきもの展見学もセットしてくださったのです!うれしい限り!

こうして、どんどんと「きもの仲間」が増え、武生の町にきもの姿の方が自然に集まるようになったら、素敵だな〜と心から楽しみにしています。



時を重ねてなお一層輝く手仕事の技

★お知らせ★

#### 10/12(日) おとなの遠足「村国山満喫の会」

本当は昨日11日の予定だったおとなの遠足。雨のため、翌12日に急遽決行! さわやかな空のもと、秋風を感じながら村国山の散策を楽しみました。

親子連れもいたりして、「市民に親しまれている山なんだ」ってかんじながら、登りはじめました。村国山は低く適度な坂なので辛くないのがうれしい! 久しぶりに展望台で武生を眺める。お地藏さんに見送られ、頂上を目指します。



町から徒歩10分で自然満喫!

食べられるか食べられないかは関係なく「実」のもの好きにはたまらない。秋の村国山にはかわいい実がいっぱい。赤、青、茶。丸くて、かわいい。山栗はすべて食べられた後でした。残念。詳細はブログをご覧ください)

まもなく頂上です。残念なことに、まわりは木が生い茂り、あまり展望は楽しめません。頂上付近にはいくつも古墳があるのが分りました。池が二つ。小さい頃はよく来たな。

今回は、パワーアップ!カフェ班が山頂でコーヒーを淹れてくれるそうです。村国山でミントも見つけたので、ハーブティーもOKです。茶道を習っているメンバーはお抹茶もたてくれるようで、野点もOK。おとなは贅沢なのだ! (詳細はブログをご覧ください)

#### 福楽冬号。ぜひご覧ください!

福井での素敵なライフスタイル提案している、大人の情報誌「福楽」。

今回冬号の特集は「きもの暮らしを楽しむ」。ラピュタも「きものde来武」のお知らせを掲載していただきました。そして、な、な、なーんとっ!! スタッフ、「後ろ姿でならOK♪」という条件で、表紙も飾っちゃいました!

撮影場所は越前市内某所。さてさて、この風情ある場所は、どこでしょう?

ということで、「きもの輪」がますます広がる2009年でもありますように!



**「ペロ亭やきもの&ペルー民芸キャラバン」開催  
1月16日(金)～18日(日)までの3日間  
11:00～19:00(最終日は17:00まで)会場:ラピユタ 入場無料**



ラピユタではおなじみの「ペロ亭やきもの&ペルー民芸キャラバン」今年も開催です!

旅する陶芸家・岩国英子さんの作品は、ユニークであたたかみ溢れる作品たちです。ペルーでの日本語教室の活動を継続的に実施している彼女達ならではの、ペルー民芸もお見逃しなく。出発前の全品 15%オフのスペシャルバザールです!(主催:ペロ亭 tel0778-28-1204 協力:ブエンテの会)

**劇団13番街公演「暗渠迷宮」(あんきよめいきゅう)  
2月21日(土)20:00開演 2月22日(日)14:00開演、17:00開演  
会場:ラピユタスペース2階(ラクガキ屋さん隣) 料金1,000円**

ここ数年は、「otonaの文化祭」にあわせて行っていた劇団13番街の公演。今年は大人の事情で年明けの公演です。面白いお芝居になるよう準備中です。まちシリーズ3作とはちょっと趣を変えてお送りします。お楽しみに!

ストーリーは、「某街用水の暗渠の中から現れた1000年前の少女の亡骸をめぐる探偵と怪人の対決活劇!」という内容の芝居公演前にすったもんだする地方劇団の日常を描くフィクション喜劇?です。

(チケットはラピユタでも取り扱います)

**今だから読みたい・読まなきゃ「ラピユタお勧め図書」**



★★★★★



★★★★☆



★★★★☆

**■■■■金融危機を理解するために■■■■**

① 金融危機を理解するためにまず勧めたいのは、エコノミスト水野和夫著「金融大崩壊」(NHK出版・生活人新書 700円)です。この本には、いかにしてアメリカ金融帝国が生まれ、そして崩壊したか、この後どうやって対処していくかが、分かり易く解説されています。水野和夫さんは、2007年に出版した「人々はなぜグローバル経済の本質を見誤るのか」という長いタイトルの本で、今日の世界金融危機をほぼ的確に予測していた人で、最近では新聞雑誌で引っ張りだこ状態です。彼のコメントを見たら読んでおくに役に立ちます。

② 金融危機をリスクビジネスの面から解説したのが、元福井県立大学経済学部教授本山美彦著「金融権力」(岩波新書 780円)です。アメリカの金融が本来の役割を離れ、サブプライムローンを証券化してリスクを世界にばら撒く「リスク転売ビジネス」へと変質していく様子が書かれています。

③ 広瀬隆著「世界金融戦争 上・下」(NHK出版、共 800円)には広瀬隆さんらしく、フリーメーソンのロスチャイルド家の陰謀にまで今回の金融危機の遠因を求めています。パパプッシュも子プッシュもその手先として大統領に祭り上げられ、その結果がこの世界金融危機です。恐ろしいことにロスチャイルド家の陰謀はこの先も形を変えてまだまだ続きそうです。

**世界金融危機と武生**

◆聞きなれないサブプライムなどといった言葉が新聞テレビに出てきたかと思ったら、世界金融危機だと騒ぎ出し、そんなことはどこか米国ニューヨークのナットカ街の出来事だと思っていたら、NHK7時のニュース全国版で「今回の世界金融危機の影響を受け、福井県越前市〇〇工場では400人の非正規社員を解雇、また越前市の別の△△工場でも派遣社員を解雇……」と報じていた。世界経済と武生はこんなに直結していたっけ!?

◆知り合いの派遣会社の総務で働く人が、「最近、市内工場に派遣している社員の離職書類ばかり書いているが、そのうち私も要らなくなるような気がしてならない。」と心配顔。

◆別の知り合いが、派遣労働者として働いている日系ブラジル人を対象に日本語教室を1年ほど前から市内で開いている。生徒が20人を越え、そのうち30人くらいになるかも知れないといっていたのがほんの数ヶ月前なのに、今では生徒が数人に激減してしまった。いつもなら往復チケットを買って年末年始にブラジルに帰るのに、今年は片道チケットを買う日系ブラジル人が多いらしい。

◆役所内では「民間企業は不景気なんだから、あまり目だった年末年始の宴会を地元でしないように」との未確認お達しが出ているらしい。それでも民間とは比べものにならない給料・ボーナスを手にした役所セブ達には、福井県を脱出して京都神戸あたりで派手なパーティを繰り返している、というまことしやかな噂が市内に広がっている。ついに役所だけが武生の地場産業になってきたか。

◆武生の名誉市民であった大久保道舟さんが、かつて学長を務めたこともある駒澤大学が世界的な金融危機の影響を受け、デリバティブ取引で154億円の運用損を出した。それにしても曹洞宗の大学がなんでデリバティブ取引?道元禅師もびっくりしていると思う。

◆似たような話が何年前かに福井県が出資する福井県文化振興事業団などの財団法人4団体であった。保有していた13億8千万円分のアルゼンチン債で大損失が発生したのである。このときも、あの立派な福井県立音楽堂とアルゼンチン債が結びつかなくて、なんで、なんでと思った。宗教・教育・文化・芸術とお澄まし顔の裏は、意外と切った張ったの『ナニワ金融道』のような世界とつながっているのかも知れない。

◆さて、持続可能なまちづくりを標榜するラピユタ創造研究所としては、世界金融のようなグローバルな世界の動きとの付き合い方、拒否の仕方、問の取り方をどうしたらよいかを少し勉強することにした。勉強会を開きますので興味のある方は参加してください。勉強会の告知はメルマガ「ラピユタ情報」とホームページにて。

ラピユタ理事 井上和治

※毎回お届けしていた中日新聞・日刊福井の「越前春秋」に掲載されたコラムの続きは、次号で掲載します。

私たちは、持続可能な地域社会をめざします



Laputa

〒915-0074 福井県越前市蓬萊町5-1  
TEL 0778-21-3190 FAX 0778-21-0676  
e-Mail info@laputa21.com  
ホムペ http://laputa21.com/